



土地などをまとめる会社を設備する

P Phase想像：批判的パートナー・カスタム Gem

「土地などをまとめる会社を設立する」というアイデアですね！バラバラになっている土地の権利や使い方を一つの組織で管理しようとする視点は、全体を見通そうとする素晴らしいアプローチです。

さて、このプロジェクトをより強く、現実的なものにするために、あえて厳しい立場の人たちから意見を聞いてみましょう。

2つの立場からの声

① 現地の貧しい農家の立場

- ・ 「生活はどうなる？」：会社に土地をまとめられてしまったら、自分たちが今日食べるものをための自由な耕作ができなくなるのではないか？
- ・ 「奪われる不安」：会社が土地を管理するということは、実質的に先祖代々の土地が会社のものになってしまい、自分たちは追い出されるのではないか？
- ・ 「格差の拡大」：会社を運営できるような知識やお金がある人たちだけが得をして、自分たちは安い賃金で使われるだけにならないか？

② 世界的な環境保護団体の立場

- ・ 「利益優先の懸念」：その会社が「利益」を求めた瞬間、まとめた広い土地を一気に開発してしまい、かえって森林破壊が加速するリスクはないか？
- ・ 「生態系への影響」：人間が管理しやすいように土地を「まとめる」ことで、野生動物が自由に行き来できる自然の道が分断されてしまわないか？
- ・ 「監視の限界」：広いアマゾンで、その会社が本当にルールを守って土地を管理しているかを、誰

① Geminiへのプロンプトを入力



農家の人の声や環境を配慮して管理している会社を設備。会社はもとあったつぶれた会社を利用することで新しく土地を開発する心配はない。

P Phase想像：批判的パートナー・カスタム Gem

「つぶれた会社の跡地を利用する」というアイデア、素晴らしいですね！新しく森を切り開かずに、今ある資源を再利用するという「リサイクル」の視点は、環境負荷を抑えるための非常に賢い戦略です。

では、この進化した案に対して、さらにレベルの高い「第3の視点」をぶつけてみましょう。今回は**「ブラジル政府」**の立場で考えてみます。

③ 第3の視点：ブラジル政府からの問いかけ

政府は国全体の経済や法律を考えています。君たちの会社に対して、こんな疑問を持つかもしれません。

- 「**雇用の継続性は？**」：つぶれた会社を利用するのはいいが、そこで働く農家の人たちに、一時的ではなく「10年、20年と安定した給料」を払い続ける自信はあるか？もしされた会社がつぶれたら、農家はもっと悲惨な状況になるのではないか？
- 「**不法伐採への抑止力は？**」：跡地で会社を運営している間に、会社の目が届かない「もっと奥地のジャングル」で、別の誰かが勝手に木を切ってしまうかもしれない。会社として、その広大な周囲の森をどうやって守るつもりか？
- 「**税金と公共利益**」：その会社が儲かったとき、そのお金を自分たちの利益にするだけでなく、地域に学校や病院を作るためにどう還元してくれるのか？

「場所」の問題は解決しましたが、次は**「どうやって運営し続けるか（持続可能性）」**という高い壁が見えてきましたね。

① Geminiへのプロンプトを入力





保護した人には、その人たちが望む店や農業を選ばせてその訓練やスキルを身につけてもらうために実際にそこに行ってもらう。そして、太陽光パネルが壊れた場合には、それを再利用してまた作る。

P Phase想像：批判的パートナー・カスタム Gem

素晴らしいですね！「本人の希望を尊重する」という姿勢、そして「壊れたものを再利用してまた作る（循環させる）」という考え方とはまさに今の世界が目指しているSDGsの精神そのものです。

特に、保護した人に無理やり仕事をさせるのではなく、**「選ばせてあげる」**というプロセスは、その人たちが誇りを持って森と生きていくために、とても大切なことですね。

さて、いよいよプロジェクトも完成形に近づいてきました。これまでの君たちの素晴らしいアイデアを、世界に発表できる形にまとめてみましょう！

最終ブラッシュアップ：世界への宣言

最後のアドバイスとして、君たちの会社が**「成功し続けるための最後のピース」**を考えてみてほしいです。

1. 「**再利用する場所**」の確保：太陽光パネルをアマゾンの奥地で「作り直す」には、特別な技術や工場が必要になります。それを、最初に見つけた「つぶれた会社の跡地」の中に作ることは可能かな？
2. 「**世界への発信**」：アマゾンで地産地消していても、活動を続けるには世界中の人からの応援が必要です。監視施設で撮った「守られている森の映像」を世界に届けて、寄付や応援を集めの仕組みはどうだろう？

① Geminiへのプロンプトを入力



地産地消だけでは儲からないという課題について

P

Phase実行：計画書チェック・カスタム Gem

⋮

思考プロセスを表示 ▾

その「地産地消だけでは儲からない」という気づきは、開発と保護のバランスを考える上で非常に鋭く、重要な視点です。

この課題を突破し、計画に「稼ぐ力」を持たせるためのチェックを行います。

① 論理のつながり（ロジックチェック）

- **「目的」と「手段」の再定義：**地産地消の目的は「地域の食の安定」や「輸送コストの削減（温室効果ガス削減）」です。しかし、農家が豊かになるには、地域外（都市部や外国）からの現金収入が必要です。
 - **問い合わせ：**「地域内で消費するもの（生活用）」と「地域外へ売るもの（稼ぐ用）」を分ける、という考え方はできませんか？
- **管理会社の役割：**設立する会社が「ただ管理する」だけでなく、**「農家が作ったものに付加価値をつけて高く売る」**という役割を担う論理構成にすると、計画の持続性が一気に高まります。

② データの必要性（エビデンスチェック）

- **「アマゾンブランド」の価値：**世界では今、環境に配慮した製品（フェアトレードやオーガニック）を高く買う層が増えています。
- **指示：**アサイーやカカオ、天然ゴムなど、アマゾン特有の产品が世界でどの程度の市場規模（あるいは価格）で取引されているか。資料集やネットで調べてみてください。**「世界市場

③ Geminiへのプロンプトを入力



その前に農家の人の声や環境を配慮して管理している会社を設備するのをやめる。

P

Phase実行：計画書チェッカー・カスタム Gem

⋮

思考プロセスを表示 ▾

おおっと、計画の「核」となる部分を削るという、大胆な決断ですね！行き詰ったときに「一度白紙に戻して考える」のは、プロのプランナーもやる高度な判断です。

ただ、監査役としては、その変更によって**「計画全体の論理」に巨大な穴が空いていないか**を確認しなければなりません。

① 論理のつながり（ロジックチェック）

- 「**実行部隊**」は誰になるのか：これまでの案では、「会社」が農家の声を聞き、施設を建て、訓練を行っていました。この「会社」という仕組みをやめる場合、それらの実務は誰が担うことになりますか？
 - ブラジル政府と国連が直接、一人ひとりの農家や不法伐採者とやり取りをするのは、現実的にかなり困難です。**「誰が現場を動かすのか」**という新しい論理が必要です。
- 「**限界**」への対応：あなたはワークシートの「限界」の欄に、「農家の人の声も一人一人聞くのは難しい」と書いていました。会社をやめることで、この問題は解決しますか？それとも、もっと難しくなりますか？

② データの必要性（エビデンスチェック）

- **組織の必要性**：アマゾンのような広大なエリアで、組織（会社やNPOなど）を介さずにプロジェ

① Geminiへのプロンプトを入力

+

–

思考モード ▾





やっぱり、会社を建てる！

P

Phase実行：計画書チェック・カスタム Gem

⋮

思考プロセスを表示 ▾

おかえりなさい！「やはり会社が必要だ」という結論に至ったのは、非常に大きな前進です。

監視施設（ハード）だけでは解決できない「人の生活」や「心のケア（教育）」、そして「経済の仕組み」を動かすには、やはり意思を持った**「組織（会社）」というエンジン**が必要だと気づいたのです。その確信を持って、改めて計画の論理を磨き上げましょう。

① 論理のつながり（ロジックチェック）

- **「見つけた後」のバトンタッチ：**監視施設で不法伐採者を見つけた後、会社がどのように「保護」し「訓練」へと繋げるのか、そのスムーズな流れを説明できますか？
- **問い合わせ：**施設（警察的役割）と会社（教育・雇用役割）がどう連携すれば、不法伐採者が「逃げる」のではなく「助けを求める」ようになるでしょうか？
- **「地産地消」を支える会社の役割：**「地産地消だけでは儲からない」という課題に対し、会社が「加工」や「ブランド化」を担うことで、地域外へ高く売るロジックを補強しましょう。

② データの必要性（エビデンスチェック）

- **「跡地」の有効活用：**「つぶれた会社の跡地を利用する」というアイデアは、環境破壊を防ぐ素晴らしい根拠です。
- **指示：**Amazon全体で、過去の開発で放置された跡地がどれくらいあるのか調べてみましょう。「広大な跡地のうち〇〇%を活用する」と言えれば、説得力が倍増します。

① Geminiへのプロンプトを入力

+

≡

思考モード ▾





経済発展ということばをいれてみてもいいですか？

P Phase実行：計画書チェック・カスタム Gem

「経済発展」という言葉、ぜひ入れましょう！この言葉が入ることで、あなたの計画は「守るだけ」のボランティアではなく、ブラジルという国を豊かにするための「国家プロジェクト」としての重みが増します。

では、今のタイトルに「経済発展」を組み込むための、ロジックチェックを行います。

① 論理のつながり（ロジックチェック）

- ・ 「環境」と「発展」の結びつき：「経済発展」という言葉を使うなら、なぜ木を切らずに（環境を守りながら）経済が成長するのか、その理由がタイトルからも伝わるように工夫しましょう。
- ・ 問いかけ：「環境を守りながらの経済発展」なのか、「環境を活かした経済発展」なのか。あなたの案は、跡地利用や地産地消、教育を含んでいるので、後者のニュアンスが強いかもしれませんね。

② 批判的視点（カウンターチェック）

- ・ 「発展」への警戒心：開発に反対する人たちは「経済発展」という言葉を聞くと、「また森を切り開くのか？」と身構えます。
- ・ 摆ぶり：その疑いを晴らすために、「持続可能な」や「次世代の」といった言葉をセットすることを検討してみませんか？

構成案のヒント

- ① Geminiへのプロンプトを入力